



株式会社システナ

証券コード: 2317

第41期

中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

Link People for Happiness



 systemena

事業概要

7つの事業が連携しALLシステナとして、ITに関する幅広い領域で企画から保守までの**トータル・ソリューション・サービス**を提供しています。

ソリューションデザイン事業



自動運転・車載システム、通信事業者サービス、社会インフラ関連システム、スマートフォンやWebアプリなどの開発、ロボット・人工知能・IoTを使った組み込み開発など各種システム、サービスの企画から設計・開発・検証・運用までを一貫してサポートしています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、自動車メーカー、インターネットビジネス企業

フレームワークデザイン事業



金融機関（損保・生保・銀行）をはじめ、産業系・公共系などの幅広い業種向けに、基幹・周辺システムの開発および基盤系システムの設計・構築を行っています。

主要顧客：損保、生保、銀行、一般事業法人

ITサービス事業



システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート、データ入力、大量出力、モバイル端末アプリおよびインターネットコンテンツの開発支援・品質評価など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、銀行、外資系企業、官公庁、インターネットビジネス企業

ビジネスソリューション事業



サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスやプロダクト導入サービス（RPA・BIツールなど）の企画・開発・提供をしています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業をはじめとする一般事業法人

クラウド事業



自社サービス『Canbus./キャンバスドット』、『Cloudstep』、『Web Shelter』の提供および『Google Workspace』、『Microsoft 365』などクラウド型サービスの提供・導入支援を行っています。

主要顧客：一般事業法人（中堅から大企業まで）

海外事業



モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供、最新技術やサービスの動向調査および事業化を行っています。

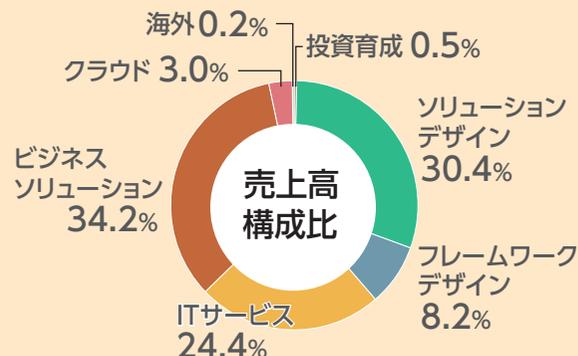
主要顧客：日系企業、アメリカ企業、通信キャリア、通信機器メーカー

投資育成事業

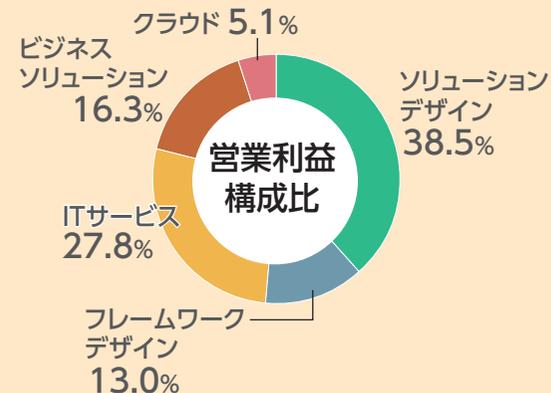


子会社（株式会社GaYa）を通じて、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

各事業の概況（2023年3月期第2四半期）



調整額（△0.9%）



海外（△0.3%）
投資育成（△0.4%）



代表取締役社長
三浦 賢治

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第41期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、経済社会活動の正常化が進む中、個人消費を中心に緩やかな回復基調となりました。しかしながら、資源・原材料高による世界的なインフレ圧力は根強く、各国の中央銀行が景気腰折れを覚悟で大幅な利上げを進めており、世界経済の不透明感はさらに高まっています。

こうした状況下で当社は、引き続き2025年3月期を最終年度とする中期経営計画の推進に注力しました。大方針としてデータ経営による生産性の向上を掲げ、今後10年で最も伸びる分野に経営資源を集中させることで、2025年3月期の数値目標である売上高1,010億円、営業利益152億円の達成に取り組んでまいります。

当社は、これまでの40年の歴史で培った経験、知見、ノウハウを活かして時代の変化に柔軟に対応しながら、お客様、株主様のご期待に真摯にお応えしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年3月期第2四半期

売上高 **35,805** 百万円



営業利益 **4,435** 百万円



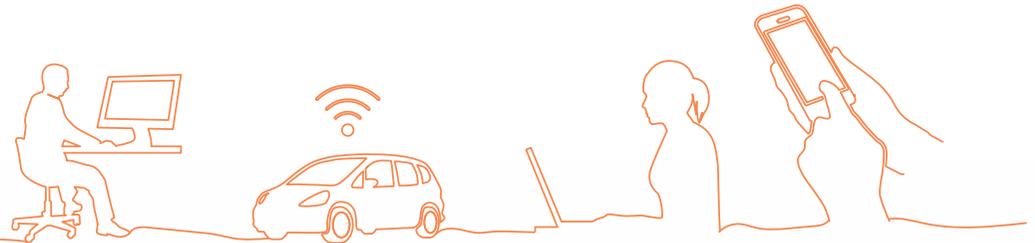
経常利益 **4,497** 百万円





成長分野や規模拡大への投資を行った結果、前年同期比で増収増益となりました

代表取締役社長
三浦 賢治



まず、第41期第2四半期における御社の取り組みと業績、そして通期の業績予想についてお聞かせください。

当第2四半期におきまして、当社グループは経営の基本方針である事業のスクラップ&ビルドをさらに加速し、成長分野の中でも強みを活かし、勝てるマーケットへの経営資源の迅速な投入を行っています。また、自前の営業力強化だけでなく、営業力のあるパートナーとのアライアンスを積極的に推進し、自社商材と自社サービスの販売強化を図っています。さらには、新卒の積極採用の継続やオフィスの増床など、規模拡大のための投資を行っています。

こうした取り組みの結果、当第2四半期の連結業績は、売上高35,805百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益4,435百万円(同14.9%増)、経常利益4,497

百万円(同20.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,084百万円(同22.5%増)となりました。

そして、通期の連結業績予想につきましては、さらなる受注拡大と収益性の向上に取り組むことで、売上高71,450百万円(前期比9.5%増)、営業利益10,280百万円(同12.9%増)、経常利益10,280百万円(同19.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7,000百万円(同16.8%増)を見込んでいます。

では、御社の社会的な役割とそのお考えについてお聞かせください。

当社の社会的役割としまして、その一つ目は雇用の創出です。具体的な取り組みにつきましては、のちほどお話しさせていただくとして、二つ目は、当社のBtoBのお客様は多岐な業界にわたっており、当社は

誰もが使っている銀行システムの機能性向上やキャッシュレス決済の開発など社会をより便利にする取り組みの支援を行っています。お客様のほとんどが日本のトップ企業ですので、私たちはIT技術によってそのトップランナーのビジネスモデルを支えることで、間接的に豊かな社会作りに貢献しています。

そして、三つ目は納税です。税金を納めるためには、その前提として利益を出すビジネスを行うことです。つまり、健全に働き、利益を追求し、利益を出したら、しっかり納税する。納税という利益還元で、豊かな社会作りの源泉になり、社会に貢献することになります。

企業の社会的な役割として、時代の流れとか潮流というものはもちろんあると思います。しかし、今お話ししたことは、5年、10年経っても大きく変わるものな

い、企業における基本的な原理原則としての社会的役割だと思っています。

続きまして、ESGのSである人材に対しての御社における取り組みについてお聞かせください。

ESGのSとは、本来、人ありき、人のために行うべきものだと思います。しかし、主客転倒して取り組まないといけないう風潮が生まれていることも事実です。また、言葉だけが一人歩きして多くの方にその取り組みや実態が伝わっていないようにも感じています。と申しますのも、先ほどの雇用の創出という話に戻りますが、コロナ以降の日本社会においては、なによりサービス業が激減しました。サービス業の従事者は女性が圧倒的に多いですから、同時に女性の働く機会も消失していったわけです。こうした状況下において、女性の雇用を創出する機会を増やすことは、当社のIT技術を使ってお客様にサービスを提供することと同じように社会貢献になると私は考えています。

一方、社内に目を向けてみますと、コロナ以降において、全採用数の50%以上を目標とした女性採用の実施、女子大学を巡っての採用機会の拡大をスタートしています。また、人手不足を解消するべく産休後の復職率の向上を目指したり、働きやすい環境作りで全社挙げて取り組み、コロナ禍での学校や保育所・幼稚園の一斉休校の際にも特別有給を付与し、子供の世話やコロナに罹患して休んだとしても働いたと見なして給料を全額払うなど、様々な問題解決を社内においても

行っています。しかし、それは企業として当然のことで、優秀な人材を維持し、コロナ禍にあっても成長することで雇用を創出し、雇用した人材に活躍してもらうことで、さらに成長サイクルを回していこうとしているのです。

さて、これからの社会について、世界的な社会と日本的な社会の違いを考えると、日本はまだ非常にドメスティックです。

しかし、「ITを活かしていったい何を行うのか?」、そのためには「どんなテクノロジーをもって行うのか?」、そして「どのようなマインドで行うのか?」という3点は、これからの世の中や社会で、企業として今まで以上により一層強く問われていくと思うのです。

そうした中において、社会とのつながりとしてどんな企業に勤めるか、どんな仕事をするのか、それは各々の自由ですが、システナに入ると自分が活躍できて、しかも世の中の役に立つ仕事しかありません。つまり、ここでしっかりと役割を果たすことで、日本の国民として貢献していることが実感できるのです。

しかし、世の中を見渡すと、新入社員の方たちも含め、今自分の取り組んでいる仕事果たして社会的に正しいものであるのか、自問自答しながら働いている若い方は多いのではないのでしょうか? それは、個々にはとても負担になりますし、企業のあり方としても後ろ向きだとも思うのです。システナの仕事は社会に貢献するプロジェクトばかりですから、そんな心配はなく何も考えずにそのプロジェクトに取り組めば、それがそ

のまま日本のためになります。そうすると、あとはいかに自分の力を発揮するかという一点になります。何の憂いもなく、何の心配もなくひたすらテクノロジーへのキャッチアップと自分が配属された分野の習得、プラスお客様とのコミュニケーションやプロデュース能力の習得に集中していただければ、社会に貢献し、自らも幸せになっていけるように私はシステナを経営しています。

そして、こうした社会に役立つ人材を育成するためには社員教育云々より、その人の本来もっているスケール感を縮めずに、若いパワーを今の日本、ひいては海外という大きな流れの中で、まっすぐな方向にもっていけるかどうかこそが重要だと考えています。

最後に株主の皆様にもメッセージをお願いします。

当社はスクラップ&ビルドを繰り返すことにより、時代の変化に機動力をもって応えてきました。そして、これにより上場以来、掲げた目標は全て達成してまいりました。現在推進中の中期経営計画の目標達成により新たな事業領域への拡大もお見せできればと思っています。

なお、配当金につきましては、中間配当金として1株当たり4円を配当させていただきました。期末配当につきましては、1株当たり4円を予定しております。

株主の皆様には今後とも末長いご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。

ESG

特集 システナのESG

サステナビリティの取り組み

第1回 人材に向けた取り組み

当社は、性別・年齢・人種・国籍・新卒中途などの属性に係わらず管理職への登用を行っており、実力に応じた処遇と適材適所を方針としています。2022年11月における課長職以上の管理職に占める女性比率は9.0%ですが、今後も引き続き全ての従業員に対し、教育・研修や昇進・昇格の機会を平等に与え、実力に応じた処遇と適材適所を進めてまいります。



女性の活躍に向けて

当社は女性活躍の推進に関する各種取り組みを進めてまいりましたが、国の定める基準において当社の「男女別の採用における競争倍率」、「継続就業割合」、「労働時間等の働き方」、「管理職比率」、「多様なキャリアコース」などの取り組みが評価され、2020年に厚生労働省から女性活躍推進法に基づく、『えるぼし』認定の三ツ星を取得しました。



女性管理職比率

9.0%

(2022年11月現在)

ワークライフバランス

柔軟な勤務体制の整備

- フレックスタイム制度
- 変形労働制
- 短時間勤務
- 時差出勤
- 勤務時間インターバル制度
- テレワークのためのノートパソコン等の機器支給
- 公共交通期間の連休および大幅な遅延発生時の対応ガイドラインを設定し、従業員の安全を優先

柔軟な休暇の取得体制

- 有給休暇取得の推奨
- 結婚休暇
- 配偶者出産休暇
- 介護休暇
- 忌引き休暇
- 記念日休暇
- 転勤休暇
- 夏季休暇
- 年末年始休暇
- 半日休暇
- 1時間単位休暇

健康経営の推進

当社は、「健康経営優良法人2022」として、優良な健康経営を実践している大規模法人部門の内、上位500社に付加される「ホワイト500」に2年連続で認定されました。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

会社の概況 (2022年9月30日現在)

会社概要

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58)年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体：3,855名 連結：4,948名
加盟団体	Oracle Partner Network 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) 情報サービス産業協会 (JISA) 日本情報技術取引所 (JIET) JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) MONETコンソーシアム

役員

代表取締役会長	逸見 愛親
代表取締役社長	三浦 賢治
取締役	田口 誠
取締役	藤井 宏幸
取締役	逸見 真吾
取締役	小谷 寛
取締役(社外)	鈴木 行生
取締役(社外)	小河 耕一
取締役(社外)	伊藤 麻里
常勤監査役(社外)	菱田 亨
監査役(社外)	中村 嘉宏
監査役(社外)	阿田川 博
監査役(社外)	徳尾野 信成

グループ会社概要 (2022年9月30日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。

★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

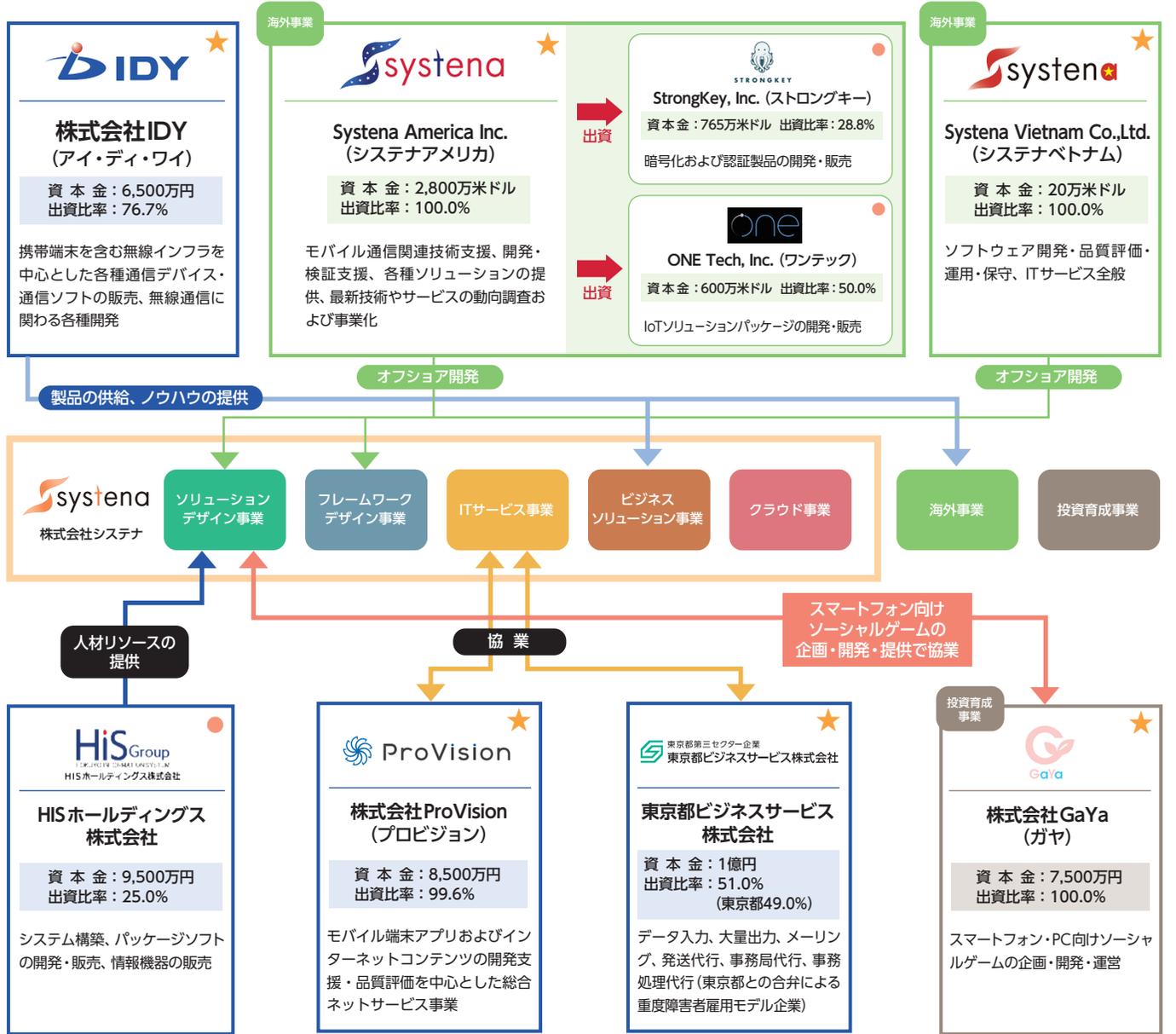
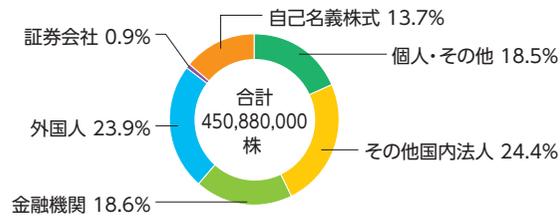
株式の状況

発行可能株式総数	1,478,400,000株
発行済株式の総数	450,880,000株
株主総数	10,877名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス株式会社	104,097,200	23.08
株式会社システナ (自己株式)	61,871,488	13.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	49,208,900	10.91
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	23,883,200	5.29
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	15,685,600	3.47
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	10,014,764	2.22
システナ社員持株会	9,749,000	2.16
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L.P.	9,579,700	2.12
BBH FOR FINANCIAL INV TRUST GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL STALWARTS FD	5,535,500	1.22
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	4,804,120	1.06

所有者別株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-782-031	
電話照会先	受付時間 平日9:00～17:00(銀行休業日を除く) ●株式に関するお手続き https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	
	 <p>よくあるご質問はこちら▶</p>	
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場	
証券コード	2317	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.systema.co.jp/) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	



住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-782-031
受付時間 平日9:00～17:00(銀行休業日を除く)

株式会社システナ

本社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F
TEL: 03-6367-3840 (代表) FAX: 03-3578-3012 (代表)

横浜事業所

〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F
TEL: 045-640-1401 FAX: 045-640-1461

大阪支社

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー 18F
TEL: 06-6376-3537 FAX: 06-6359-7012

名古屋事業所・名古屋営業所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目23番13号 名古屋大同生命ビル13F
TEL: 052-526-2580 FAX: 052-526-2583

札幌開発センター

〒060-0042 札幌市中央区大通西三丁目6番地 北海道新聞社ビル北一条館4F
TEL: 011-208-1012

福岡開発センター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東三丁目14番1号 T-Building HAKATA EAST 11F
TEL: 092-477-7401

広島開発センター

〒730-0015 広島市中区橋本町10番10号 広島インテス4F
TEL: 082-577-1100

竹芝デザインスタジオ

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目9番18号 国際浜松町ビル2F

川崎デザインスタジオ

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1番地14 JMFビル川崎01 5F

神戸イノベーションラボ

〒650-0032 神戸市中央区伊藤町119 大樹生命神戸三宮ビル3F

松山イノベーションラボ

〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町5番地8 オワセビル9F

京都イノベーションラボ

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町601
NUP BUILDING 京都駅前2F

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

ホームページのご案内

<https://www.systema.co.jp/>



Facebookのご案内

<https://www.facebook.com/systema.servicesolution/>



この印刷物は、FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用して印刷されています。